



新型コロナウイルス関連肺炎について



2020年2月29日現在、日本国内感染者は239名（患者217名、無症状病原体保有者22名）です。沖縄県内で確認された患者数は合計3名です（2月20日）。

○予防を徹底しましょう

①石けん等で手洗いをしましょう。
（アルコール消毒も有効と考えられています）



②マスクを着用しましょう。

③咳エチケットを徹底しましょう。

④換気を行ってください。

⑤規則正しい生活を心がけましょう。

⑥人混みを避けてください。不要不急の外出も避けましょう。

風邪や季節性インフルエンザ対策と同様に一人ひとりの咳エチケットや手洗いなどの実施がとても重要です。感染症対策に努めるようお願いいたします。

○次のような症状がある方は、「**新型コロナウイルス感染症相談窓口（098-866-2129）**」にご相談ください。

・風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続く場合（解熱剤を飲み続けなければならない場合も同様）。

・強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある場合。

新型コロナウイルスQ&A

令和2年2月22日時点版

心配な時には

Q1 風邪のような症状があり心配です。どうしたらいいですか？

A 発熱などの風邪の症状があるときは、学校や会社を休むなど、外出を控えてください。
毎日体温を測定して記録しましょう。

Q3 最寄りの保健所等(帰国者・接触者相談センター)に相談するとどうなりますか？

A 電話での相談を踏まえて、感染の疑いがある場合には、必要に応じて、新型コロナウイルス感染症患者の診察ができる「帰国者・接触者外来」を確実に受診できるよう調整します。

予防について

Q4 新型コロナウイルスにはどうやって感染しますか？

- A** 現時点では、飛沫感染と接触感染の2つが考えられます。
- ① 感染者のくしゃみや咳、つばなどの飛沫による「飛沫感染」
 - ② ウイルスに触れた手で口や鼻を触ることによる「接触感染」

医療機関を受診するとき

Q6 医療機関を受診するときに気を付けることはありますか？

A 複数の医療機関を受診せず、「帰国者・接触者相談センター」等から紹介された医療機関(「帰国者・接触者外来」など)を受診してください。受診するときは、マスクを着用し、手洗いや咳エチケットを徹底してください。

Q2 感染したかも?と思ったらどうしたらいいですか？



A 以下の場合には、最寄りの保健所等にある「帰国者・接触者相談センター」に電話で相談しましょう。

- ① 風邪の症状や37.5度以上の熱が4日以上続く
- ② 強いだるさや息苦しさがある



- ・重症化しやすい高齢者や基礎疾患がある方に加えて、念のため妊婦さんは、こうした状態が2日程度続いたら相談しましょう。
- ・症状がこの基準に満たない場合には、かかりつけ医や近隣の医療機関にご相談ください。

Q5 感染予防のためにできることはなんですか？

- A** 以下のことを心がけましょう。
- ① 石鹸やアルコール消毒液などによる手洗い
 - ② 正しいマスクの着用を含む咳エチケット
 - ③ 高齢者や持病のある方は公共交通機関や人込みを避ける

新型コロナウイルスについて

Q7 感染しても症状が出ない人がいますが、その人からも感染しますか？

A 現状では、はっきりしたことはわかっていません。通常、肺炎などを起こすウイルス感染症の場合、症状が最も強く現れる時期に、他者へウイルスをうつす可能性も最も高くなると言われています。

より詳しくお知りになりたい方はこちら

